

作業順序② 掘削、土留支保工設置

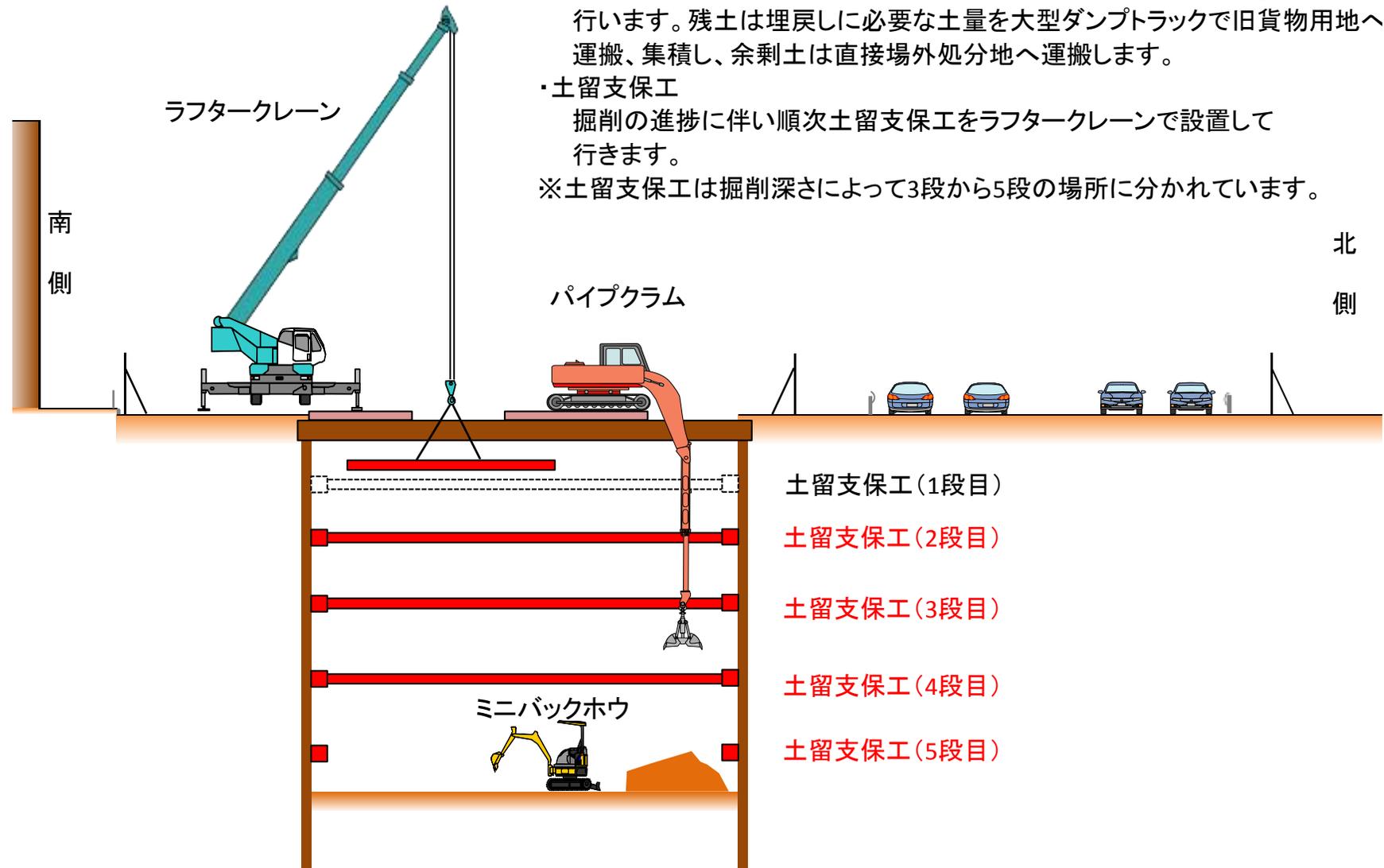
・掘削

坑内はミニバックホウで掘削、集土し、パイプクラムで揚土積込を行います。残土は埋戻しに必要な土量を大型ダンプトラックで旧貨物用地へ運搬、集積し、余剰土は直接場外処分地へ運搬します。

・土留支保工

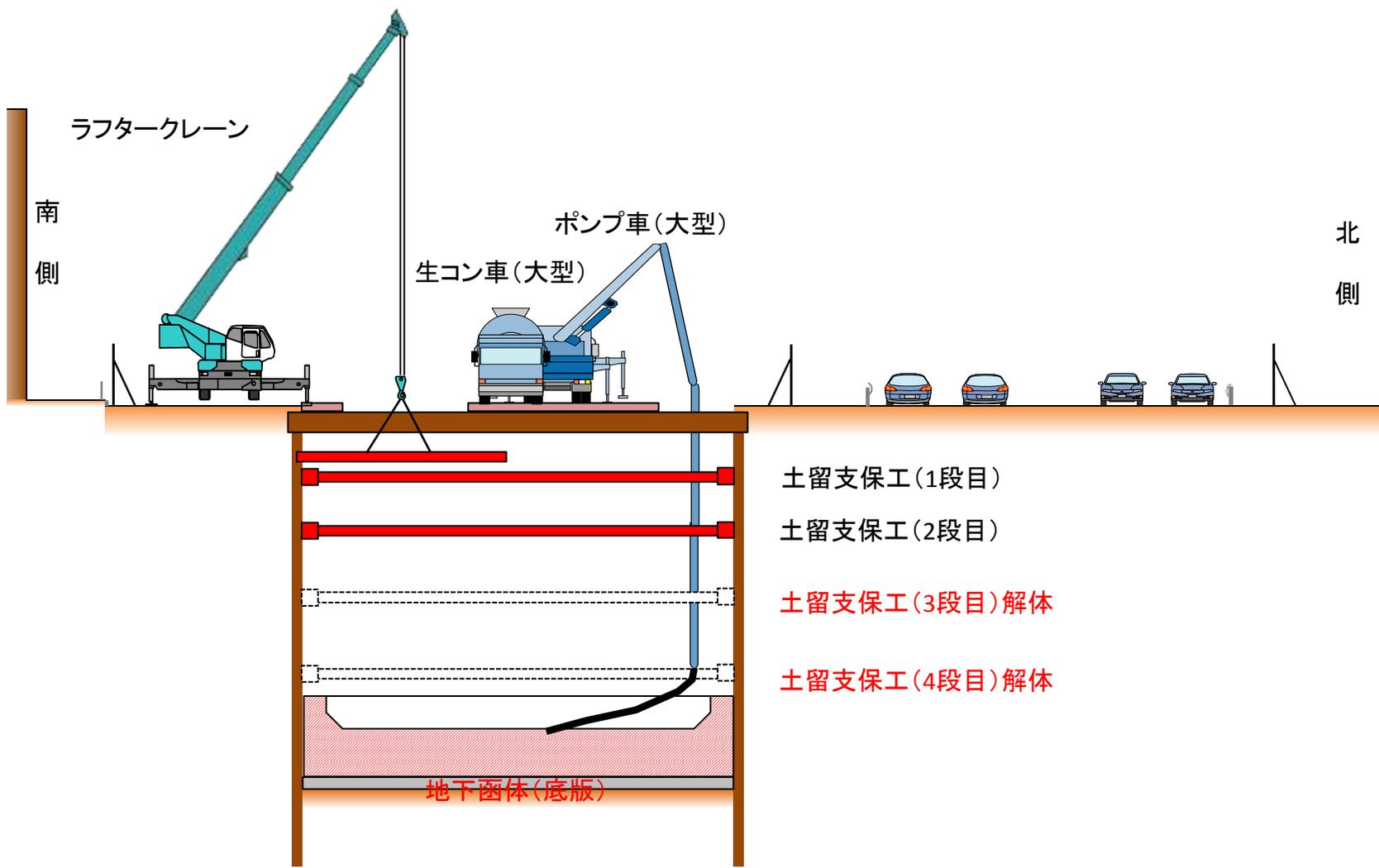
掘削の進捗に伴い順次土留支保工をラフタークレーンで設置して行きます。

※土留支保工は掘削深さによって3段から5段の場所に分かれています。



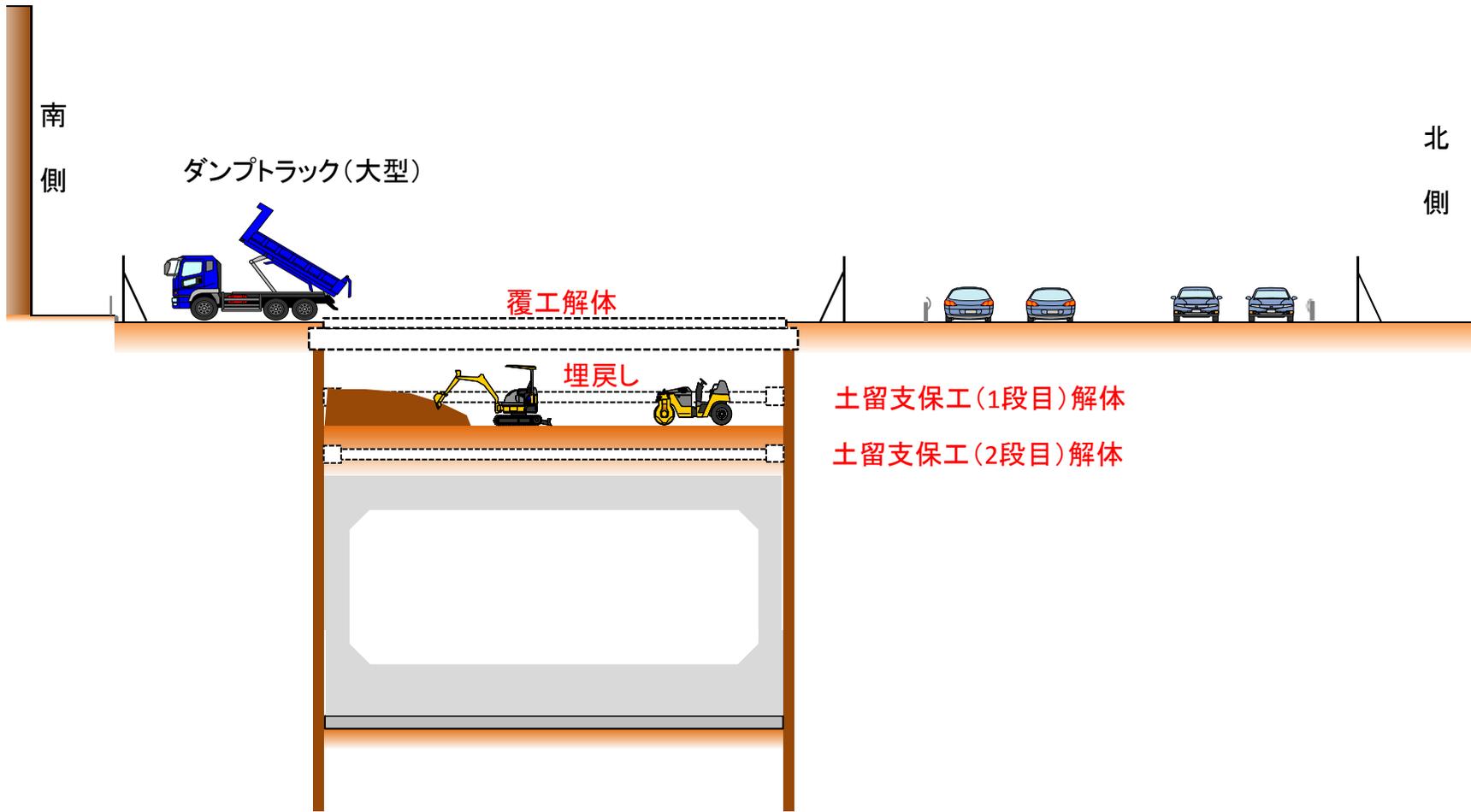
作業順序③ 地下函体構築

・地下函体構築(底版・壁・上床版)を行い、適宜土留支保工を解体します。



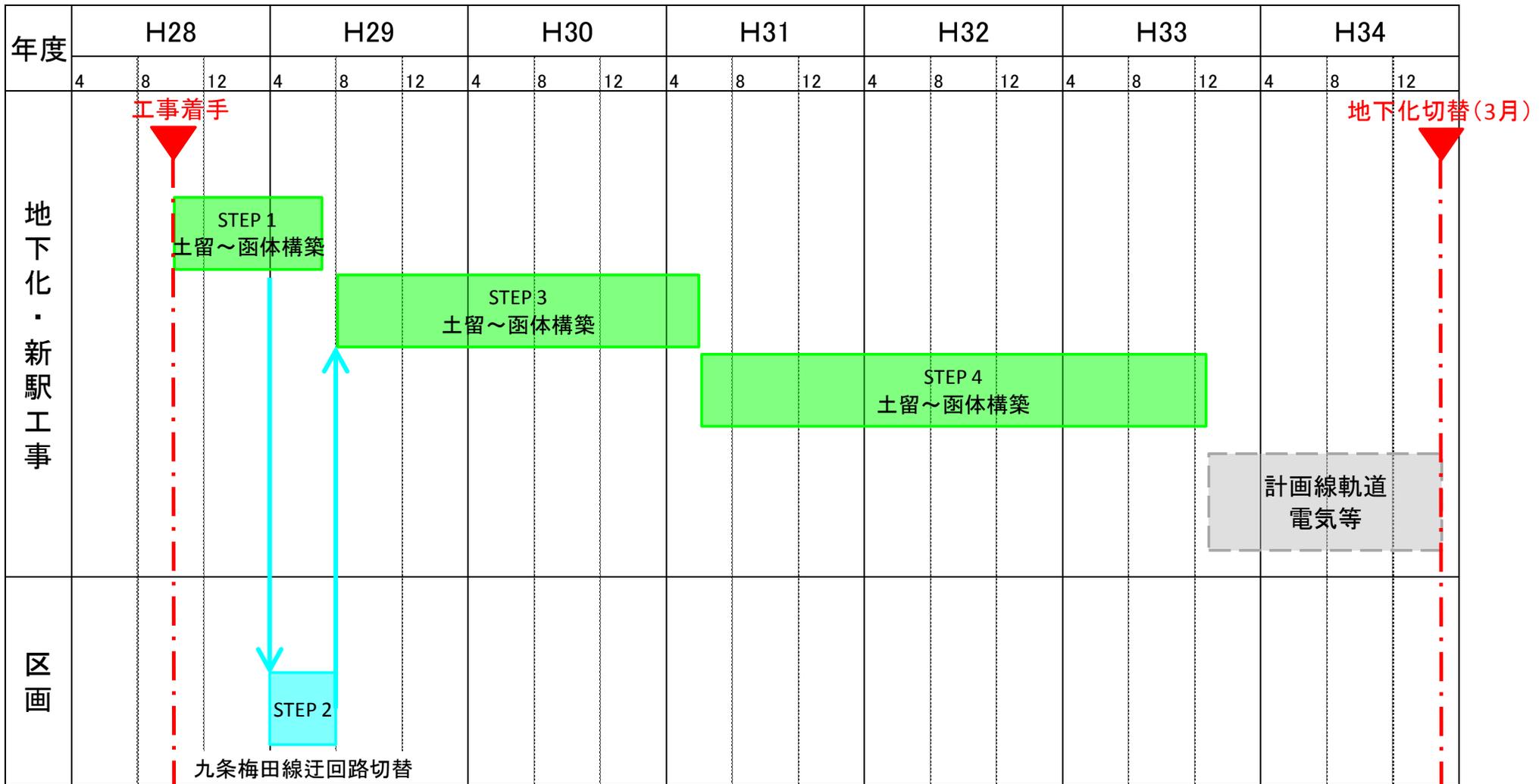
作業順序④ 埋戻し

- ・地下函体構築が完成したら構築上部の埋戻しを行い、進捗に伴い土留支保工(1,2段目)解体、覆工解体を行います。埋戻しに使用する土砂は旧貨物用地からダンプトラックにて運搬します。



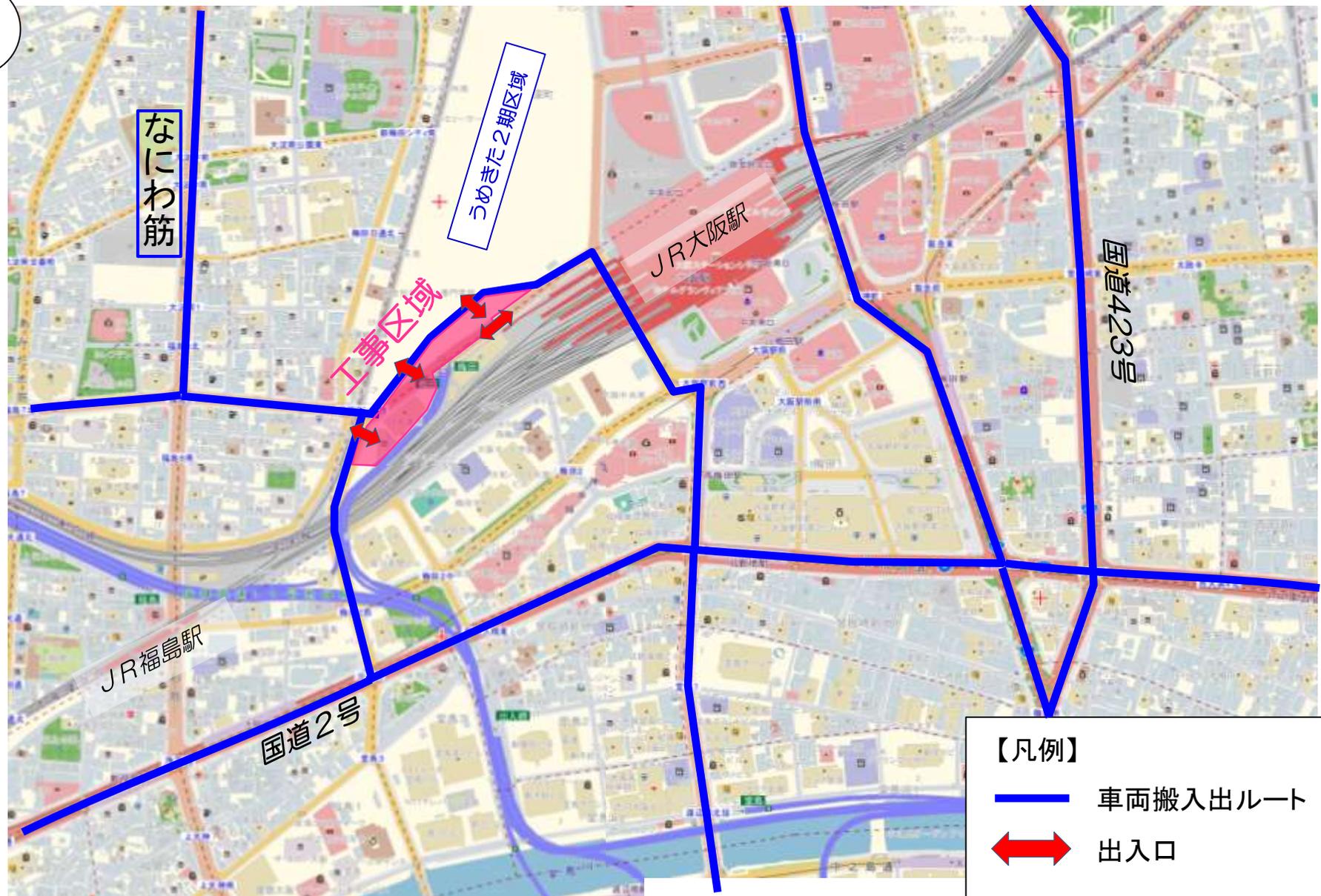
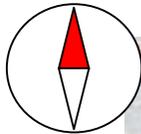
～ 工事工程 ～

■ 全体工程(予定)



～ 進入路計画 ～

■ 工事車両出入口・運搬ルート（平成28年度～平成33年度）



【凡例】

- 車両搬入出ルート
- ↔ 出入口

■ 工事車両出入り口



※ 車両出入り口使用時は交通誘導員を配置

■ 工事等についての連絡先

事業主体（事業に関すること）

大阪市 建設局 （鉄道交差担当）

TEL：06-6615-6762

発注者（工事内容に関わること）

西日本旅客鉄道株式会社 大阪工事事務所 大阪工事所

TEL：06-6304-1016

施工者（工事内容に関わること）

東海道線支線南1地区T新設他工事JV

（株式会社大林組・株式会社浅沼組）

TEL：06-6454-6088